

令和3年度成人式



▲令和3年度新成人を代表し、佐野楓さん（根雨）と、阿部七美さん（根雨）があいさつ。



1月3日、新成人の新たな門出を祝福し激励する日野町成人式が、町文化センターで行われました。

今年は、令和3年度成人式と、新型コロナウイルス感染拡大の影響で式典中止となっていた令和2年度成人式を、午前と午後に分けて同時開催。令和3年度対象者21人のうち14人が、令和2年度対象者34人のうち12人が出席しました。

式典では、埴田町長や中学校時代の恩師、梅田直樹さんらが激励の言葉を贈りました。また、令和2年度成人式の式典では、恩師からの動画メッセージや中学生時代の懐かしい映像が放映され、参加者からは思わず笑みがこぼれていました。

新型コロナウイルス感染症対策のため例年行われている交流会は行われませんでしたでしたが、式典終了後の会場では、久しぶりに会った旧友たちとの再会を懐かしむような話し声や笑い声があふれていました。



令和2年度成人式

▶令和2年度新成人を代表し、西田一生さん（小河内）があいさつ。





よい一年になるように、願いを込めて！

町内各地で年越し・初もうで



金運・開運を願い多くの人を訪れた金持神社

年が明け、今年一年の無病息災などを願い、町内各地の神社で初もうでに出かける人の姿が見られました。

毎年多くの参拝者が訪れる金持神社では、12月31日（大みそか）の深夜から、町内をはじめ県内外から参拝者が訪れました。

金持神社の元旦から1月3日にかけての人出は約1万2千人。年末に降り積もった雪が残る中、多くの人でにぎわい、参拝者は家族の無病息災や金運・開運成就など、さまざまな願いごとをしていました。

札所（売店）では、スタッフらが「良い年になりますように」「気を付けて帰ってください」など、一人一人に温かく声を掛ける様子がみられました。

また、聖神社（黒坂）では、境内をほのかに照らし出す手作り灯笼の姿が。毎年恒例となっている竹灯笼の点灯。星形などさまざまな



聖神社の周りに灯る竹灯笼



な模様にくり抜かれた竹灯笼が、参道や境内をやわらかな光で照らし出し、初もうでに訪れた参拝者を迎えていました。

新年を迎える準備は万端

老人クラブ連合会しめ縄づくり



新年への抱負を込め丁寧に縄を結ぶ

12月15日、日野町老人クラブ連合会が、正月用のしめ縄づくりを行いました。

和田佳洋さん（小河内）を講師に、10人が参加し、わらの扱い方や縄の結び方について教わりました。

講師の手際よい作業を手本にしなから、さまざまな形、大きさのしめ縄が完成しました。

参加者は日本の伝統、文化に触れながら、一年を振り返ったり、新年の抱負を話したりしながら、新年を迎える準備を整えることができました。

夢に向かってはばたいて！

セルプひのが絵馬を寄贈



合格祈願の思いが込められた絵馬

高校受験を控える地元の中学生に、無事志望校に合格してほしいと、12月10日、セルプひの（梅林日登美所長）が絵馬を贈りました。

絵馬は、同施設の職員と利用者の手づくりで、生徒らの合格祈願と、夢に向かって羽ばたいてほしいという思いを込めて、「大願成就」と大きく書かれています。

日野中学校で行われた贈呈式では、3年生代表の安達敬祐さんと川上歩花さんが、絵馬を受け取りました。

生徒らは「高校受験に向けがんばっていきなさい」と、意気込みを語りました。